

島生み（その二） その4

次に隠岐の三（み）つ子の島を生みたまひき。またの名は天の忍許呂別（おしころわけ）。次に竺紫（つくし）の島を生みたまひき。この島も身一つにして面四つあり。面ごとに名あり。かれ竺紫の国を白日別（しらひわけ）といひ、豊の国を豊日別（とよひわけ）といひ、肥（ひ）の国を建日向日豊久志比泥別（たけひむかひとよくじひねわけ）といひ、熊曾（くまそ）の国を建日別（たけひわけ）といふ。

／解説／

次に隠岐の三（み）つ子の島を生みたまひき。またの名は天の忍許呂別（おしころわけ）。

言霊オヲ・エエの宇宙に於ける区分の事です。隠岐（おき）は隠気で隠り神の意。三つ子とは天津磐境の三段目に位する言霊を意味します。またの名の天の忍許呂別（おしころわけ）とは先天の（天）大いなる（忍）心（許呂）の区分の意。言霊オ（経験知）と言霊エ（実践智）は人間の生の営み、人類文明創造に於ては最も重要な心の性能であります。

次に竺紫（つくし）の島を生みたまひき。この島も身一つにして面四つあり。面ごとに名あり。かれ竺紫の国を白日別（しらひわけ）といひ、豊の国を豊日別（とよひわけ）といひ、肥（ひ）の国を建日向日豊久志比泥別（たけひむかひとよくじひねわけ）といひ、熊曾（くまそ）の国を建日別（たけひわけ）といふ。

父韻チイキミシリヒニの八言霊の精神宇宙内の区分。宇比地邇の神・妹須比智邇の神、以下妹阿夜訶志古泥の神計八神の宝座のことであります。これ等八父韻言霊、八神は母音宇宙言霊に働きかけて子音言霊を生む人間の創造意志の智性の原律をすべて尽くしている、即ち竺紫（つくし）の島である、という事です。この島も身一つにして面四つあり、とあります。八父韻すべては言霊イ（親音）の働きであります。身一つといわれます。その働きは二言霊一組の四組から成っています。面四つあり、の意です。この面四つ、四組の区別を左に並べます。

竺紫の国	白日別	言霊シリ
豊の国	豊日別	言霊チイ
肥の国	建日向日豊久志比泥別	言霊ヒニ
熊曾の国	建日別	言霊キミ

右の如く並べて書きますと、三列目の肥の国を除く三行は白日別と言霊シリ、豊日別と言霊チイ、熊曾の国と言霊キミとしてそれぞれ五十音図表のサ行とラ行、夕行とヤ行、カ行とマ行と同じ行である事が分ります。また白日、豊日、建日と日の文字があり、日即ち霊（父韻）を意味します。以上の事から容易に古事記の編者太安万侶の意図を察する事が出来ます。然も編

者は容易に謎を解かれるのを嫌ってか、三行目の肥の国だけは長い別の名を用いました。しかしこの長い名前も、八父韻解説の章で述べました如く、於母陀流（面足）が言霊ヒ、妹阿夜訶志古泥が言霊ニと解けてしまっている今では、建日向（面足）と日豊久志比泥（阿夜訶志古泥）は容易にその類似を知る事が出来ます。父韻ヒが心の表面に表現の言葉が完成する韻であり、その反作用として父韻ニが心の中心にすべての思いの内容が煮詰まる韻と分ってしまっているからであります。

